

マイノリティの意味

キャリアー博士の主題講演



アメリカにおける黒人の経験から「マイノリティの意味」について語れば、1865年以前には、黒人は全く搾取の対象物と見られ、奴隷制の中で、その筋肉と技能は経済体制の利益のために利用された。農園の所有は奴隷労働によって富み栄えたが、黒人奴隷は、貧困のどん底にあえぎ、権利

を持たない人間以下の存在とされた。そして奴隷所有者とその財産関係は黒人を非人間化し、白人を神から賦与された優越性をまとうた色々な神話をつくり出した。黒人は聖なる結婚が拒まれ、彼らの小供は主人の持物とされ、公共の市場で売買された。

農園の境界を越えた相互の関係は奴隷反乱を醸成し、共同体の経験をつくり出すと考えられた。奴隷は彼らの歴史を刻みとられ、種族の名前を取り去られ、所有者の財産関係を明らかにするために、主人の家の名につけられ、黒人の価値は

白人の健康と繁栄と福祉にどれだけ役立つかによって決定された。このような背景を持った黒人の立場からの「マイノリティの意味」は人格としての自己のアイデンティティを保持し、創造主と世界的人間共同体に自己を結びつけることであつた。奴隷制時代の第一義的斗争は、聖なる個人としての自己を信じ、神の定められた運命としての奴隷制という神話を拒否することであつた。

次に解放後の黒人は、法的に奴隷制から解放されたものの、生存のための諸資源は保証されず白人社会の

は、単に情報交換に止まらず、国境をこえた共同の行動へと成長して行くだろう。搾取と非人間化の事実を互いに伝えようとするのは、多国籍企業と抑圧者の搾取への挑戦となる。アジアにおけるアメリカ、日本、ヨーロッパ諸国の搾取に対して反対の共同の行動が必要である。

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

私の個人的な経験から始めさせていだきたい。私は自身はビルマで、少数民族であるインド人として生まれ、そこで教育を受けた。インド人の多くはクルーリ(苦力)や労働者だったが、少数の金持ちや専門職の人間もおり、私の父は開業医であつたから、この意味ではむしろ多数のビルマ人の間

また私はヒンズー教徒が大多数を占めるインド人で、人口の2・5%にすぎない少数民族であるクリスト教徒であり、中産階級としては、一方に少数の富める特権階級を、他方にまた生きるための食物、衣服、雨露をしのぐ所すらもない大多数の人々を見る立場にある。これだけの個人的な話に

1973年にアジアキリスト教会議(CCA)の都

は、単に情報交換に止まらず、国境をこえた共同の行動へと成長して行くだろう。搾取と非人間化の事実を互いに伝えようとするのは、多国籍企業と抑圧者の搾取への挑戦となる。アジアにおけるアメリカ、日本、ヨーロッパ諸国の搾取に対して反対の共同の行動が必要である。

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと

力をもたないものに奉仕するよりも、力をもつものの付属品である。教会の宣教活動やエキュメニカルな働きが財政的に富める国に依存していることは、第三世界や貧しいものにとっては危険である。我々の独自の文化的、宗教的遺産が否定され、他宗教を信じる人々からクリスチヤンが孤立してきたことは、第三世界の否定につながっている。エキュメニカルと



にいたことにもなる。私はインドで大学教育を受けたが、この点では、文盲の人が多数を占めるインドでの少数の特権階級に属する。また、私の大学時代は、少数の英米人の植民地的、帝国主義的支配に對して、多数のインド人が政治的独立を求めて戦った最後の時期であり、私も学生としてその戦いに加わつた。

と、多数であることはさまたまなニューアンスの違ひをもつて語られる。我々の住む世界には、政治的、経済的、軍事的な力をもつて、農民や都市のブルジョアアートのような大

多数を抑制する少数者、少数のエリート集団もある。だが、外国に住み、長年苦勞してきた、民族的、人種的、あるいは国籍上の少数者の場合はこれとは違

今日の世界では、国際的なつながりは、力をもつものによって支配されている。富める国と多国籍企業が、交通・通信を支配し、外交組織を動かす、多数の大衆を抑圧する役割を果たしている。この点で資本主義国と社会主義国の区別はなされねばならない。

しかし、このような状況は、基本的に矛盾を含んでいる。最近の四半世紀に、

50年後半から60年にかけて、アメリカの良心に訴え、その同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

国際連帯と宣教戦略

ダニエル牧師の主題講演

と、多数であることはさまたまなニューアンスの違ひをもつて語られる。我々の住む世界には、政治的、経済的、軍事的な力をもつて、農民や都市のブルジョアアートのような大

多数を抑制する少数者、少数のエリート集団もある。だが、外国に住み、長年苦勞してきた、民族的、人種的、あるいは国籍上の少数者の場合はこれとは違

今日の世界では、国際的なつながりは、力をもつものによって支配されている。富める国と多国籍企業が、交通・通信を支配し、外交組織を動かす、多数の大衆を抑圧する役割を果たしている。この点で資本主義国と社会主義国の区別はなされねばならない。

しかし、このような状況は、基本的に矛盾を含んでいる。最近の四半世紀に、

50年後半から60年にかけて、アメリカの良心に訴え、その同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

として受けとり、専ら自分たちのエネルギーを黒人共同体形成に注ぎ、又そこで護もいなく希望のない体験をさせられた。その時代には、黒人共同体から色々々な反応が起つた。アフリカへの帰還、リベリア共和国の建設、南部では白人の学校、レストラン、休息室からの閉め出し、列車やバスへの隔離、「白人専用」の看板の下で、黒人はアメリカ生活の主流に入る事が認められなかった。教会でさえ公同礼拝の参加を拒絶したのである。そこで黒人は意図的に黒人世界即ち自己表現、自己肯定を提供する共同体を創り出した。黒人の諸機関、宗教センター、リクリエーションセンター等である。勿論、白人の助けもあつたが、南部の黒人は白人社会を閉ざされた世界

160 東京都新宿区戸塚町一丁目五五
日本キリスト教団出版局

韓国キリスト教史
閔庚培著 澤正彦訳
激動する韓国において、キリスト者の果たしている役割は大きい。その思想とエネルギーを知るためには、韓国カトリック、プロテスタント両教会の歩みと、人々の不屈の抵抗の歴史を学ぶ以外にない。本書は、近代以前から今日までの韓国キリスト教史を平明に叙述したものである。著者は延世大学神学部長、教会史教授。
■主要目次 近代以前のキリストとの接触／ローマ・カトリック教会の韓国宣教／韓国のプロテスタント教会：韓国にはいつてきたプロテスタント教会の類型、韓国教会の草創期と宣教師、韓国教会の形成／十字架を負う韓国教会：十字架を打ちこまれた日、韓国教会と三一運動、燃えても燃えつきない森ノタとなり、また朝となった：解放された教会の再建、六・二五、民族の分裂、教会の分裂／韓国教会の新しい気象図／注／韓国キリスト教史年表／地図
■B6判／一一〇〇円下80

京都府知事免許(1)1805

大発住宅センター

代表者 金昌業
(京都教会長老)

〒615 京都市右京区西院西淳和院町22
電話 075 (311) 0063

本社 千葉県八千代市米本1448-1
電話 0474 (88) 5579・1613番
営業所 千葉県船橋市前原西1-25-18
電話 0474 (76) 6181~2番

拘束者釈放を嘆願

총회서 文案作成코 署名모아

지난 三月四日、京都교 회에서 열린 "現時點에서 基督者의 態度" 研究會의 討議에서 "本國에서 拘束당한 교역자들의 赦 방을 위한 嘆願書"를 보 내기로 合意되고 지난四 月任職員會에서도 구체적 으로 嘆願書를 작성하여 交인들의 署名을 받기로 결정하고 다음과 같은 嘆願書를 작성하여 산하 各敎會 交인들의 署名을 받 아 本國關係當局에 보내 게 되었다.

嘆 願 書

朴正熙大統領閣下 尊敬하는 大統領閣下 위하에 하남의 祝福이합 개하시기를 빌며 祖國大 韓民國의 繁榮을 祝願합 니다.

今般 本國과 日本內新 聞에 報道된바 이重大한 時機에 基督敎 敎役者와 信徒들이 大統領緊急措置 違反으로 拘禁되었다는消 息은 在日大韓基督敎會總 會傘下 모든 信徒들에게 큰 충격을 주었으며 마 음을 심히 아리게 했음 을 느낍니다.

저희들은 拘束된 事實 에 대하여 詳細한 內容 督者는 무엇보다도 信仰 海外에 사는 저희들基 督者는 무엇보다도 信仰

朴君의 採用取消撤回

日立製作所、抗議團앞에

日立製作所에서 韓國人 이란理由로 入社를拒絶당 한 朴鍾碩君에對해 本國 福音傳道의 聖業에 參與 할수있도록 大統領閣下의 勸諭과 格別하심 配慮를 간절히 바라면서 이에嘆 願하는 바입니다.

海外에 사는 저희들基 督者는 무엇보다도 信仰 海外에 사는 저희들基 督者는 무엇보다도 信仰

韓 國 人 被 爆 者 差 別 の 問 題

金 信 煥

一九七〇年十二月三日、被爆韓國人孫振斗は原爆病の治療を求めて日本に密入した。彼は捕まられ、出入国管理令違反で懲役十ヶ月の有罪判決を受けた。彼は密入の目的は単なる生活(又は求職)の爲ではなく「昔、日本人として被爆した原爆の犠牲者であるので、日本の国で病気を治してほしいと思った」のである。

彼は大阪で生まれた。日本人として育ち(當時、韓国は日本と合併していたので韓國人も皆日本人として取扱われた)日本の小学校で教育を受け、一九四四年に広島に移住し、父母と妹と本人の四人が被爆した。一八才の時であった。三年後父親は原爆病で死亡。母親は現在寝たきりの状態で妹も原爆後遺症で苦しんでいる。一九七〇年になって孫さんは体の異常のために韓国の釜山で診察を受けたところ白血球の減少、肺結

政府が、外国人(韓國人)は一九四五年八月十五日までは日本人であったが、この日から國の獨立に伴って韓國人となった。「治療の目的」での来日を認めていない。第二は觀光の目的なら「VISAを出す。しかし觀光目的では日本に親族の招請なしには来日できない。彼には日本に親族がいなく、日本に来るまでに旅券

民族の進む道(6)

韓 哲 河

「近代化」に伴う「非人間化」を防ぐ我々の民族的目標を、我々は「人間化」という言葉でもって表現できようと思う。「人間」という概念は、一つの価値概念ではない。どんな普遍的な価値概念をもつてして「人間」を規定しつづけることはできない。むしろ、価値を否定し超越するものが「人間」である。同時に「人間」という概念は、その最大の概念だといえる。そのうちでありながら「人間」の概念は、自己固有の内容を持つており、他の或るもの手段になることを拒絶する。

「近代化」に伴う「非人間化」を防ぐ我々の民族的目標を、我々は「人間化」という言葉でもって表現できようと思う。「人間」という概念は、一つの価値概念ではない。どんな普遍的な価値概念をもつてして「人間」を規定しつづけることはできない。むしろ、価値を否定し超越するものが「人間」である。同時に「人間」という概念は、その最大の概念だといえる。そのうちでありながら「人間」の概念は、自己固有の内容を持つており、他の或るもの手段になることを拒絶する。

製鉄原料・鋼材
建築資材・台貫

株式会社 田中商店

社長 李 万 重

本社 千葉県市原市岩崎 650
電話 0436(22)1037

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事①第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金 光 洙

事務所 名古屋市熱田区八千代通3丁目11番地
(名古屋市中中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 (052) 682-1177(代)

自宅 名古屋市千種区猪高町猪子石原字太田
電話 (052) 771-5952

食品・薬品包装業

有限会社 加富利産業

代表者 金 漢 弼

東京都足立区西新井本町4-25-12
電話 03(890)0951(番代)